

農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業（R6）

スマート農業の普及拡大

農業における省力・軽労化や労働力確保・技術継承に向けて、スマート農業技術の導入をさらに推進するとともに、農作業受託を専門として行う「農業支援サービス事業体」を育成し、人手不足等の課題解決を図る。

《期待される効果》

- ①超省力・大規模生産を実現
- ②作業の能力を最大限に発揮
- ③きつい作業、危険な作業から解放
- ④誰もが取り組みやすい農業を実現
- ⑤消費者・実需者に安心と信頼を提供

新たな作業体制の確立

1 農業支援サービス事業体育成支援

農作業受託を行う「農業支援サービス事業体」への機械導入及び体制強化を支援

対象者	内容	補助率	補助上限
JA、任意組織等	機械導入	国 1/2	1,500万円
	体制強化	県 1/2	200万円

担い手の実装支援と生産モデルの確立

1 実装支援

スマート農業技術の社会実装に向けて、機械等の導入経費を支援

対象者	補助率	補助上限		
			共同利用の場合	
認定農業者、集落営農組織、任意組織、市町村公社	個人	県 1/3	300万円	600万円
	法人	市町村 1/6	700万円	1,400万円

New! R6から「共同利用促進型」を追加。2回目以降の実施が可能に

2 ドローン講習支援

ドローン講習に係る受講経費を支援

対象者	補助率	補助上限	その他
個人（認定農業者、集落営農組織の代表、構成員及び従業員）	県 1/2	15万円/人	1経営体（組織）あたり2名まで事業実施が可能

3 地域版スマート農業実証支援

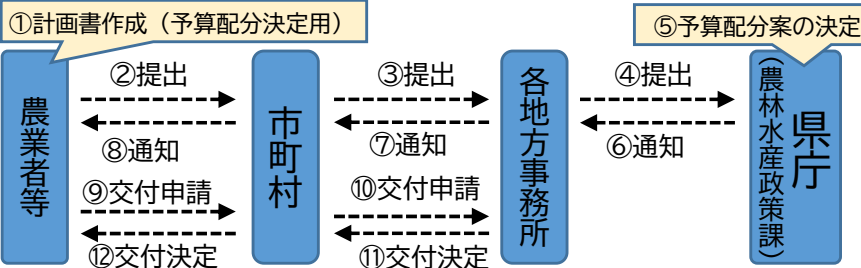
スマート農業技術を活用した生産モデル実証の取組に係る経費を支援

対象者	補助率	補助上限
JA、任意組織等	県 1/2	-

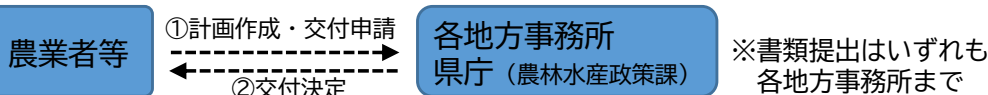
事業の流れ

「実装支援」を活用する場合

公募ごとに、県全体でポイントの合計値の高い順に予算の範囲内で配分を行う。



「ドローン講習支援」、「地域版スマート農業実証」を活用する場合



「農業支援サービス事業体育成支援」を活用する場合

